

町村下水道整備に係る緊急重点要望決議

我が国の下水道普及率は全国平均では63.5%に達しているものの町村の下水道普及率はいまだ27.8%にとどまり、なお多くの町村が事業着手にも至っていない状況にあり、このような地域間格差は放置できる状況ではありません。

下水道は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全是もちろん、国民の生命・財産を守る浸水の防除など、ナショナルミニマムとして重要生活基盤であり、より一層の整備促進が望まれます。特に、遅れている町村の下水道整備は、規模が小さくなるほど、建設費や維持管理費とも割高となり、また、近年の財政的困窮がますますその普及拡大の阻害要因となっており、地域住民の生活環境の改善に向け、国の強い支援が望まれます。

そこで、ナショナルミニマムとして位置づけられている下水道の整備について、住民の期待に応えるよう、町村下水道の整備促進を早急に図るため、下記の事項について強く要望します。

記

- 1 公共事業予算の厳しい削減が見込まれるなか、著しく遅れている町村下水道の整備促進を図るため、町村下水道事業予算を確実に確保すること。
- 2 厳しい町村財政の現況に鑑み、町村下水道の国庫補助対象範囲の拡大、並びに都道府県による代行制度の拡充を図ること。
- 3 併せて、公営企業金融公庫による長期低利の良質資金の堅持及び地方債制度における償還期限の延長、借換債制度のさらなる緩和、並びに地方交付税措置の拡充を図ること。

以上、決議する。

平成14年12月12日
沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

沖縄県選出国會議員